



# かんGメール

上野が気になったニュースをPick Up !!

11月1日から自転車運転の新たな罰則が適用されます！

自転車の運転中における携帯電話使用等(いわゆる「ながら運転」)について

【主に交通事故を発生させるなど、交通の危険を生じさせた場合】

**罰則** 1年以下の懲役又は30万円以下の罰金

【手で携帯電話等を保持して、通話や表示された画像を注視した場合】

**罰則** 6ヵ月以下の懲役または10万円以下の罰金



自転車の「酒気帯び運転」はこれまでも禁止されていましたが、罰則については対象外でした。今回の改正で、自転車の酒気帯び運転についても罰則の対象となりました。

【酒気帯び運転】 **罰則** 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

【車両提供】 **罰則** 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

【酒類提供・依頼して同乗】 **罰則** 2年以下の懲役又は30万円以下の罰金

## 12月 本会議

4年の任期3度目の本会議にて一般質問をする機会を頂きました！ぜひ議会へ傍聴にお越しください。予約などは不要です。「上野かんじの傍聴で来た」と議会の窓口に行ってくださいれば、傍聴できます。お出掛けの合間に議会傍聴はいかがでしょう？

**日時** 2024年12月10日(火) 13:00~14:00 (予定)

なお、どうしても外出が難しいという方は、広島県議会のホームページにて、インターネット中継をライブ・録画の両方で視聴することが可能です。

広島県議会



## イベント告知

### 第3回 上野かんじと語る「安芸区の未来サロン」

皆さんぜひご参加ください。上野と一緒に安芸区の未来を語り合しましょう！

**日時** 2024年12月6日(金) 18:30~19:30

**場所** 上野かんじ事務所 (安芸区中野3丁目2-16 中野公民館斜め前)

参加無料

予約不要

\*お困りごとがあればいつでも事務所へご連絡ください。これは県の事業ではないかと思われることでも、どんな些細な事でも結構です。遠慮なく上野を使ってください。皆様からご意見をいただき、行政へ届けることが議員の仕事です。ご連絡お待ちしております。

### 上野かんじ PROFILE

1982年 広島生まれ、一児の父  
なぎさ中・高、NZロングバーン・アドベンティスト・カレッジ(高校)、明治大学、英エディンバラ大学院、パイオニア(株)、JICA 青年海外協力隊、復興庁、(介護)生活相談員を経て、2023年広島県議会議員選挙に初当選。

資格  
浄土真宗本願寺派 萬福寺 副住職  
英語 (TOEIC 940点)  
全国通訳案内士  
社会福祉主事任用資格

趣味  
ドラム  
温泉めぐり

上の上へ! 安芸クオリティ!!  
変わるけん! 広島県!!

お困りごとなどがあれば、ご遠慮なくご相談ください。  
**TEL 082-847-4150**  
【事務所開設日】 毎週 月曜・火曜・木曜 10時頃~14時頃  
\*上記時間以外で御用の方はお電話にてご一報ください。



広島県議会議員 (安芸区)

2024年 11月号

# 上野かんじ

## 県議会レポート Vol.7

〒739-0321 広島市安芸区中野三丁目2番16号 TEL 082-847-4150 FAX 082-847-4151  
E-mail ueno.kanji.politics@gmail.com URL https://www.uenokanji.com/



## 9月議会のご報告

第50回衆議院議員総選挙が終わりました。自民党が議席を大幅に減らし、「政治とカネ」の問題に対する国民の怒りが形となって現れた結果となりました。

私もクリーンな県政を訴え当選した者として、政務活動費の支出が相応しいものなのか否か常に気を付けながら日頃の政治活動を行っています。これからも県民目線、安芸区民目線で広島県政を動かし、より住みやすい広島県にしていくため頑張るまいります。

さて、遅くなりましたが、9月議会(9月13日~10月1日)が閉会し、補正予算が決まりました。本レポートで議員としての活動をご報告いたします。

## 9月 補正予算

### 78億円余の補正予算が可決

(累計の本年度予算は、1兆1,035億円余りに)

この他に、将来への負担行為として債務負担行為が特別会計・病院事業会計に計上されました。

※ 広島港海田地区ふ頭用地造成事業 (78億円余)  
うち債務負担行為: 23億3,700万円

※ 新病院拠点整備事業  
57億4,750万円  
JR病院の建物や設備を含む資産を取得



\*この事業により広島港海田地区のコンテナヤード不足が解消されます。

## スターリンクの実証導入

- 能登半島地震において通信手段が遮断され、孤立集落の問題が発生したことから、緊急時の通信手段確保のため、スターリンクの実証導入と民間ドローンを活用した孤立集落への支援物資輸送体制を実証します。

**Q** スターリンクとは?

**A** 人工衛星から高速のインターネットを提供します。専用アンテナがあれば、どこでもインターネット接続が可能となります。



その他、私が2月定例会で一般質問した有機フッ素化合物(PFAS)対策の早期実施を国に求める意見書が採択されました。

その他については県のHPをご覧ください。

6月より警察・商工労働委員会に配属となりました。  
任期の1年間、県民の皆様の安全と県内経済発展のため頑張っております。

### 9月 (定例会中) 「チャイルドシートの使用促進に向けた取組み」について

#### 質問

先月、福岡市内の国道で路線バスと衝突した軽乗用車の後部座席に乗っていた7歳と5歳の姉妹が亡くなるという痛ましい交通事故が発生しました。その後の捜査で、死因は腹部を激しく損傷したことによる出血性ショックで、チャイルドシートをしていなかった2人の死因は、シートベルトで腹部を圧迫されたことによる疑いがあることが報道されていました。

子供の命を守るチャイルドシートは、2000年の道路交通法改正では「6歳未満の使用」が義務付けられています。しかしながら、冒頭の事故を受け、日本自動車連盟（JAF）では、チャイルドシートの対象外である6歳以上の子供がシートベルトを着用した場合、体格によっては、首や腹部の軟らかい部分にシートベルトが当たり、先の事故のように衝突で首や内臓が傷つく危険があることから、140センチ未満であれば6歳以上でもチャイルドシートの使用を促していた使用推奨基準を今年（9月）13日に150センチ未満に引き上げました。

体格等によりシートベルトが適切に着用できない6歳以上の子供に対して、チャイルドシートの使用を促すために、県警察として、今後、どのように取り組まれていくのか伺います。



#### 答弁

県警交通部長

委員御指摘のとおり、6歳以上の子供であっても、体格等の事情によりシートベルトを適切に着用することができない場合にはチャイルドシートを使用することが非常に重要であると考えています。各種広報媒体を通じた啓発活動に努めるとともに、違反者に対する指導取締りを徹底し、交通事故の被害から子供の命を守っていきたくと考えています。

#### 要望

(上野)

海外では、チャイルドシート使用義務について、子供の身長で制限をしている国が多くある。道路交通法の改正は国会に委ねるとして、少なくとも現行の法律と県の交通安全計画の範囲内でできるだけの広報啓発をしていただきたい。

## 海外視察報告

行政視察団として7月22日～31日までの10日間でスイス・リトアニア・オランダへ行ってきました。(滞在日数：5.5日間、移動(往復)：4.5日)

#### 参加した理由

昨今の物価高など県民生活が厳しい中、議員の海外視察については私自身もかなり悩みましたが、今回の視察の目的地であるジュネーブの核拡散防止条約（NPT）の準備委員会に参加することからこの度の視察に行く決断をしました。

渡航費が90万円と多額の公費を伴う海外視察であります。被爆地広島で今後平和行政を担う者として、国際社会での日本の立ち位置と広島県の取組を現場で体感し、非核に向けて更なる活動をすべく参加してまいりました。

費用対効果が悪いのではないかとのご指摘もありますが、それは今後の当該議員の活動次第であると考えております。公費を無駄にしないためにもより一層精進してより良い広島県のために頑張っていく所存です。

ご意見等ございましたらぜひお聞かせくださいませ。真摯に受け止めて参ります。

### スイス



●滞在日数  
2日間 @ジュネーブ

- 1日目
  - ①広島県主催サイドイベント参加
  - ②オーストリア政府主催・広島県・長崎県・ユニタールの共催サイドイベント参加、広島県主催バナー展視察
- 2日目
  - ①ユニタール本部
  - ②列国議会同盟（IPU）

核拡散防止条約（NPT）という国際社会における重要な核に対する会議の場で、被爆地・広島県がサイドイベントを主催・共催し、「核兵器廃絶」を次期SDGsの目標と設定するよう働きかける活動の重要性に気付くことができました。特に、「準備委員会」という総会の前段階での発信は、総会における議案と各加盟国の動向に強い影響を与える。



今後、広島県として県内の活動はもとより、国際会議の場での発信を増やして、被爆地広島の願いを訴え続けていくことが重要あり、その積み重ねが「核兵器廃絶」に繋がる。このことから私自身も発信力を強化し、被爆地広島県を知ってもらい来てもらい、交流人口を増やす政策に取り組んでいきたい。

### リトアニア



●滞在日数  
2日間 @ヴィリニュス、カウナス

- 1日目
  - ①リトアニア外務省
  - ②イノベーション省
  - ③在リトアニア大使との会談
- 2日目
  - ①UAB Hoptrans Logistics社（福山通運(株)の業務提携先）
  - ②カウナス市
  - ③杉原千畝記念館
  - ④在福山リトアニア総領事との会談

工業系の人材育成を国として取り組んでおり、特区を設けて最先端の外国企業を誘致していることから日本よりもIT化が進んでいる。人口規模が広島県とほぼ同じということで、県としてリトアニアの政策は広島県に移植可能なものもあり、今回の訪問は今後の提携に向けての第一歩となった。また、訪問先で出会ったカウナス市長やイノベーション省の幹部も30～40代と若く、欧州一の高い経済成長率と相関があるのかもしれない。広島県でも工業系の人材が不足していることから、工業高校や高専の充実、社会人には工業系リスクリングの提供などリトアニアの取り組みを参考としたい。



### オランダ



●滞在日数  
1.5日間 @アムステルダム

- 1日目
  - ①官民一体サーキュレーターエコノミー実施区「デ・クーベル(De Ceugel)」
  - ②日本酒バー・レストランUtage
- 2日目
  - ①KMNL LODESTAR SHIPPING B.V. (神原汽船(株)の合併現地法人)

オランダは、欧州一の物流の拠点であり、広島県産品の輸出においても重要な地となることから訪問。アムステルダムはオーバーツーリズム問題（写真参照）を抱えており、問題が顕在化する前から対策を考える必要があると感じた。写真とは裏腹にオランダは環境問題に厳しく法整備が進んでいる。広島県は三原市の産廃処分場による環境汚染の問題を抱えていることから、水資源保全の条例の整備を進める必要があると感じた。今回の視察を機に条例制定に向けて取り組んでいきたい。

